

[平成15年度普及に移しうる技術]

[普及に移す技術名] 樹脂障害果の発生がなく、一次加工特性に優れた早生系のウメ新品種「福太夫」

[要約] 「新平太夫」と「織姫」を交配し、早生系のウメ新品種「福太夫」を育成した。樹勢が強く、果実は豊円形で「新平太夫」よりやや大きく、成熟期は6月中旬で「新平太夫」より約2週間早い。果肉歩合が高く、一次加工した場合でも樹脂障害果の発生はまったくみられない。

[キーワード] ウメ、新品種、果肉歩合、樹脂障害果

[担当] 福井園試・果樹研究グループ

[連絡先] 電話 0770-32-0009 電子メール enshi@ain.pref.fukui.jp

[分類] 普及

[背景・ねらい]

「紅サシ」は短果枝が枯れ込みやすく、側枝の維持が困難なため収量が不安定である。また、近年では樹脂障害果が多発傾向にある。一方、「新平太夫」は病害虫に強いものの小玉、晩生であり市場性が劣る。そのため樹脂障害果の発生がなく、かつ収穫期が早く安定多収性のウメ品種の育成が望まれている。

[技術の内容・特徴]

1. 1983年に「新平太夫(種子親)」に「織姫(花粉親)」を交配し、得られた実生の中から育成選抜した。
2. 樹勢は「新平太夫」や「織姫」並に強く、短果枝の枯れ込みも少なく、側枝の維持が容易である。収量は「新平太夫」に劣るが、「紅サシ」より多い。
3. 園試における開花盛期は3月10日と「紅サシ」や「新平太夫」に比べて3~4日早い。花粉を有し、自家結実性は「紅サシ」並に高く、「紅サシ」「剣先」「新平太夫」のいずれの品種とも他家和合性を有する(データ省略)。発芽期は3月下旬で「新平太夫」並、成熟期は6月中旬と「紅サシ」より10日、「新平太夫」より約2週間早い(表1)。
4. 果実は豊円形で、果重は30g前後と中玉で、「新平太夫」に比べてやや大きい(写真1)。果皮の地色は濃緑色で、成熟期には淡黄緑色を呈し、着色は陽光面にみられるが、「紅サシ」に比べて少ない。果面に毛じがあり、光沢は「織姫」程度で「紅サシ」に比べて少ない。果実の酸は「新平太夫」「紅サシ」並で、果肉歩合は「新平太夫」「紅サシ」並に高い(表2)。
5. 黒星病に対しては「新平太夫」並に強く、かいよう病には「新平太夫」や「紅サシ」に比べてやや弱い。通常防除で問題はない。青果の果面に樹脂障害果の発生はまったくみられない。
6. 一次(塩漬)加工した場合、核重率や皮破れ率が低く、かつ樹脂障害(内ヤニ)は現在のところまったく発生していない(表3)。

[技術の活用面・留意点]

1. 成熟期は6月中旬とやや早い。中玉であり、梅干用としての適性が高い。
2. 幼木期から樹勢が強く、生育は良好であるが、多肥条件で発育枝が長大になり捻転し、樹形を乱す恐れがあるため、「紅サシ」や「剣先」より施肥量を減らす。
3. 側枝の枯れこみが少なく着花量が多いため、着果過多になり小果となりやすい。このため間引きを重点にしたせん定や摘果等を実施し大玉生産に努める。
4. 2003年2月に「福太夫」と命名し、同年3月に種苗法に基づく品種登録の出願を行った。

[具体的データ]

表1. 樹の生態特性

品 種	樹 齢 (年生)	樹 冠(m)		幹 周 (cm)	収 量 (kg)	開花期(月/日)			発芽期 (月/日)	収穫期 (月/日)	成熟期 (月/日)	不完全花 発生率(%)	自家結実 率(%)
		縦径	横径			始期	盛期	終期					
福太夫	19	7.2	6.4	70	38	2/18	3/10	3/23	3/20	6/3	6/14	25.7	42.8
織 姫	7	1.9	2.1	27	4	2/22	3/9	3/22	3/14	5/27	-	21.9	53.1
新平太夫	17	7.8	7.2	71	95	2/22	3/14	3/31	3/20	6/6	6/27	23.2	34.5
紅サシ	13	3.9	3.8	50	23	2/18	3/13	3/28	3/26	6/8	6/24	23.3	41.8

備考: 福太夫, 紅サシは96年移植 収量: 00-02年平均(紅サシは01-02年平均) 開花期: 98-02年平均, 収穫期: 核色3.0到達日, 成熟期: 果実50%落果日
不完全花発生率: 00-02年平均, 自家結実率: 01-02年平均, (織姫02年のみ)

表2. 果実の特性

品 種	年 次	1果重 (g)	同左調査 月日	果 形 (縦/横)	1核重 (g)	核形指数 (側/横)	果肉歩合 (%)	果実品質(%)			pH	クエン酸 (%)
								黒星病	かいよう病	樹脂障害		
福太夫	01年	32.9	6/21	0.95	2.1	-	93.5	0.0	1.0	0.0	2.83	-
	02年	36.0	6/14	1.00	2.4	0.92	93.5	0.0	9.3	0.0	2.69	3.35
織 姫	01年	11.3	6/14	1.00	1.0	0.89	91.1	-	-	-	2.60	-
	02年	11.9	6/10	1.00	1.0	0.89	91.9	1.0	3.0	0.0	2.89	2.35
新平太夫	01年	22.0	7/4	1.09	1.9	-	91.2	0.0	2.0	0.0	2.78	-
	02年	30.9	6/28	1.08	2.0	0.81	93.7	0.0	0.0	15.8	2.50	3.73
紅サシ	01年	34.0	6/23	1.02	2.2	-	92.7	3.0	5.2	20.0	-	-
	02年	41.7	6/17	1.01	2.7	0.80	93.5	0.4	1.8	9.1	2.71	3.16

備考: pH: 福太夫: 01/6/22, 02/6/17 織姫: 01/6/14, 02/6/10 新平太夫: 01/7/4, 02/6/28 南高: 02/6/17調査
クエン酸: NaOH滴定量換算. 福太夫, 南高: 02/6/17 織姫: 02/6/10 新平太夫: 02/6/28調査

表3. 一次加工品質

品 種	干梅 重(g)	核重 率(%)	皮破率(%)					内ヤニ 果(%)
			無	微	少	中	大	
福太夫	15.9	13.4	87.7	7.2	4.4	0.7	0.0	0.0
織 姫	4.7	21.4	76.6	6.8	9.0	6.0	1.7	0.0
新平太夫	16.2	13.7	64.3	21.4	10.0	4.3	0.0	12.0
紅サシ	16.4	13.1	88.5	5.6	3.6	1.6	0.8	46.3

備考: 2L級: 01-02年平均. ただし新平太夫は02年のみ.
織姫は01年SS級, 03年S級.

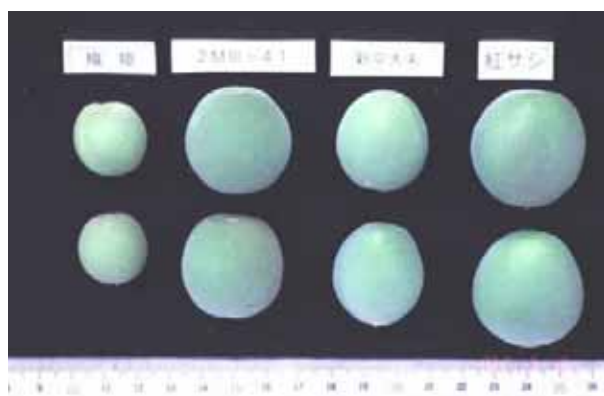


写真1. 各品種の果形(02.6.16)

(左から織姫、福太夫、新平太夫、紅サシ)

[その他] 発表論文等: なし